

介護現場の
悩み①

**緊急時の医療対応への
経験不足による不安**
医療による解決

看護師が人工呼吸器や酸素吸引の設備の扱いを指導。新入職のOJT研修期間だけでなく、必ず年1回はフォローアップしている。

介護現場の
悩み②

**医療依存度の高い入居者
対応への不安**
医療による解決

入居前の相談時に医療スタッフと一緒に病院に行き、医療的なケアについて医師から説明を聞いたうえで施設に持ち帰ってスタッフ間で共有を図る。



グランドピアノの演奏をスタッフと一緒に聴きながら、姉妹で入居している森千枝子さんは「一番上の姉の墓参りに付き添ってくださったり外食を楽しんだり、スタッフのみなさんが本当によくしてくださるので安心して、楽しく過ごしています」と笑顔で話す

「有料老人ホームは究極のサービス業」。医療法人篠原湘南クリニックの篠原裕希理事長が指摘するよう、クローバーガーデンでは「病院にいる安心感」という医療体制の重視のみならず、「自宅にいる居心地のよさ」にもこだわり、入

施設内外研修や講座で
介護スタッフを育成

添う際には家族にも同行してもらい、本音を聞き出すようにしている。年1回実施する顧客満足度(CS)調査では、「大変満足している」の評価は99・9%に達した。開設から2年以降は満床状態が続く。

「有料老人ホームは究極のサービス業」。医療法人篠原湘南クリニックの篠原裕希理事長が指摘するよう、クローバーガーデンでは「病院にいる安心感」という医療体制の重視のみならず、「自宅にいる居心地のよさ」にもこだわり、入居者の希望で外出に付きあ



赤間幸彦施設長、松川千枝子看護師長(写真左から)

赤間施設長は、「病院のように食事や外出の決まりごとがないので、ご入居者様やご家族の意向を聞きながら完全な個別対応を行っています。具体的には外食や買

「病院にいる安心感」と 「自宅にいる居心地のよさ」を提供

医療法人篠原湘南クリニック 介護付有料老人ホーム
クローバーガーデン(神奈川県藤沢市)

在宅医療の推進、医療と介護の連携に取り組む医療法人篠原湘南クリニック。退院後の患者の受け皿の一つとして開設した介護付有料老人ホーム「クローバーガーデン」は医療体制の充実による安心感ときめ細やかなケア、サービスで他施設との差別化を図る。

医療職の手厚い配置
多職種連携によるケア

株式会社クローバーガーデンが2006年に開設(13年に法人移管)した介護付有料老人ホーム「クローバーガーデン」は、医療法人篠原湘南クリニックが1988年に開設した診療所「篠原湘南クリニック」の跡地に建つ。赤間幸彦施設長は、「当法人は有床診療所からスタートし、2004年に病院を開設しています。それだけでは限界があり、地域住民を支えるために生活の延長線上の機能として介護施設が必要と考えたので」と開設理由を説明する。

機器を導入する大手に対し、医療法人としてのバックアップによる安心感を提供できるのが強みです(赤間施設長)

赤間施設長は、「ご入居者様とスタッフとの良好な関係づくりを考えての採用です。ご入居者様と年齢が近いため、共感できることも多く、人生経験が豊富だからこそその気づきもあります。若いスタッフにアドバイスして、介護ケアに活かしています」と語る。「専門スタッフの連携による総合的な医療とケアの提供ができるのが当ホームのいとところですが、生活の場での人と人のつながり、ふれあいを最も大事にしています」

医療法人篠原湘南クリニック 介護付有料老人ホーム クローバーガーデン

2006年開設。当初は法人関連の株式会社が運営していたが13年、医療法人に移管した。併設の診療所スタッフが定期的な回診、年2回の健康診断を実施。全居室に緊急コール、医療用ガス(酸素)吸引設備を標準装備する。



所在地: 神奈川県藤沢市片瀬4-10-22
室数: 30室(定員30人)
看護・介護にかかわる職員体制: 1.5対1以上
<http://cloverhospital.jp/garden/>